

～宮大生のための交換留学～

(アメリカ合衆国・ワシントン州)・(エヴァーグリーン大学) 留学報告

教育学部・研究科 小中一貫教育コース中学校主免英語学科・課程・専攻 4年 (窪田大輝)

○留学先:(国名・地域名)・(大学名・学部名)

アメリカ合衆国・ワシントン州・エヴァーグリーン大学・リベラルアーツ大学のため学部は無し

○留学期間:●●年●月～●年●月(前期●月～●月、後期●月～●月)

2022年9月～2023年6月

○渡航時の学年: 4年次

○渡日前の手續について

・留学に至った経緯について:

私が留学をしようと思ったきっかけは、アメリカ合衆国に対して憧れる気持ちがあったからです。私はバスケットボールや洋楽などアメリカの文化が好きで小さなころからいつかアメリカで過ごしたいと考えており、昨年実行に移しました。

・大学での手續について:

大学での手続きでは国際連携センターの職員の皆様方に大変お世話になりました。自分は奨学金制度を利用しなかったのも特にはありませんでした。

・査証取得:

パスポートの取得は宮崎市ででき、特に難しい手続きもありませんでした。アメリカへのビザは福岡、東京、大阪、北海道のうちどこかに面接に行かなければならず、自分は福岡まで行きました。必要な書類も多く、受け入れ校の認可証やホームページでの調査などやるが多かったのも大変でした。

○留学体験記:

私が留学を開始した時期に歴史的な円安が始まり全ての値段が1.5倍となり、予定した200万円を大幅に超え、総額で280万円程になりました。内訳は、渡航費25万円、家賃、150万円、生活費70万円、その他娯楽、教科書等35万円となりました。寮は4人部屋でキッチン、バスルーム共同の作りとなっていました。ルームメイトはみんないい人で特に喧嘩もすることなく9か月快適に過ごすことができました。私の通った大学はリベラルアーツで学部等はなく各自好きな授業を選択することができました。私は英語教育についての授業を二期、アメリカの政治と経済についての授業を一期取りました。はじめのうちは英語が早すぎて聞き取れなかったり、上手く発言ができなかったりして毎日部屋で反省する日々を過ごしました。3か月過ぎたあたりから徐々に慣れていき、少しずつディスカッションに参加できるようになりました。現地の高校にボランティアで宿題の手伝いに行く機会も頂きました。政治と経済の授業ではクラスメイトの熱量に圧倒されることが多々ありました。アメリカの貧富の格差の深刻さ、インフレーション、莫大な軍事費、人種差別、性差別等について議論を行いました。私は今までそのようなことは考えたこともなかったので、政治や社会問題について深く考える貴重な経験となりました。各学期の休暇期間には旅行もすることができました。アメリカの雄大な自然や莫大な費用の掛かったアリーナや建物等は圧巻でした。グランドキャニオンはあまりにも大きく言葉では形容できないものでした。

～宮大生のための交換留学～

授業や旅行も大事な思い出ですが、やはり最も留学に行って良かったと思うのはたくさんの人に会えたことです。私は周りの人の恵まれ、たくさん助けられました。授業で分からないときは分かりやすく教えてくれたり、パーティーに誘ってくれたり、バスケットボール等のスポーツと一緒に楽しんでくれました。彼らのおかげで私の留学はとても良いものとなりました。

日本とは全く違う環境で言語も通じないことがあり大変でしたが、この留学をして本当に良かったと心の底から思います。卒業後は教師になり、グローバル社会で生きていけるような生徒の育成になれるよう努力します。

○帰国後について

- ・派遣先で単位を取得しましたか？(しました)
- ・派遣先で取得した単位は宮崎大学で認定されましたか？(されませんでした。)
※これから申請される方は審査終了後、報告してください。

○今後、留学を希望する宮大生のみなさんへ

私は楽天的であったため、慎重に準備等を早めにしなかったのが多くありました。できるだけ前倒しで準備に取り掛かることをお勧めします。また、TOEFLの点数が80点を越えたとしても現地では苦勞すると思うので、リスニングとスピーキングは出発前まで練習をしておいた方が良いです。アメリカではまだまだインフレーションが続き、お金が掛かると思いますので奨学金を探しておいた方がいいです。今は色々な奨学金があると思うので見つけられると思います。留学は今の時代身近になっており学生の時だけというわけではありませんが、早めに行った方が今後の人生にプラスが多いと個人的に思います。悩んでいる人は行った方がいいです。現地ではできない面白いことが待っています。

